

令和7年度 認定こども園帯広の森幼稚園分園

自己点検・評価シート

1) 認定こども園帯広の森幼稚園の教育目標

<p>自然や身近なものに関心を持ち、遊びを中心とした生活を通じて、21世紀をたくましく生きぬく幼児の育成を目指す。</p> <p>◎丈夫な体の子どもを育てる</p> <p>◎仲良く遊べる子どもを育てる</p> <p>◎自分で考える子どもを育てる</p> <p>【めざす子ども像】</p> <p>『生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども』</p> <p>生きる力⇒丈夫な体、豊かな心、考える力</p>

2) 本年度の重点的に定めた教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・保護者・教職員が安心して自分の力を発揮できる人間関係の構築を図る。 ・子どもの実態や課題、保護者や地域の願いを捉え、保育にかかわる様々な人たちの参画を得て、教育目標の達成を目指す。 ・子どもの成長を大切にしたい園行事の充実・保育内容の実践に努める。

3) 評価項目の達成及び取り組み状況

職員 青 ()内は昨年度からの増減
保護者 赤

評価項目	評価内容	評価結果
教育目標	①園は一人ひとりの子どもに寄り添った保育を行っていますか。 ②園は子どものやさしいところ・思いやりの心の育成に努めていますか。	①4.8(-0.2) 4.1(±0) ②4.8(-0.1)
教育課程	①園は一人ひとりの子どもの個性や特性、良さを大切にし、その伸長に努めていますか。 ②園は挨拶や生活リズムなど、基本的な生活習慣の指導に努めていますか。 ③園は乳幼児の発達に合わせた給食の提供に努めていますか。 ④お子さんは毎日楽しく園に通っていますか。	①4.7(-0.3) 4.1 ②4.9(±0) 4.9 ③5.0(±0) ④4.8(+0.1)
園の運営	・園は、職員間の信頼関係・協働関係・共通理解を大切にしていますか ・園は保育施設のより良い環境作りに取り組んでいますか。	①3.6(-0.3) ②4.4
環境・安全	・園は、園舎内外の設備、備品の整備を行い安全管理に努めていますか。 ・園は子どもの健康の増進維持・体力向上・怪我防止・安全確保、さらに怪我や病気について誠意を持った対応に努めていますか？	①4.8(+0.3) 4.3(±0) ②5.0(+0.3)
研修・指導	・園は園内研修の計画・運営は適切に行っていますか？ ・園は各種研修会や講習会への積極的な参加に努め、報告・交流活動を行っていますか。	①4.1(+0.1) ②3.7(-0.3)
保護者・地域との連携	・園は「園便り」「クラス便り」「ホームページ」や保護者面談などで保育方針・保育計画や園や子どもたちの様子を伝えていますか。 ・園は行事や懇談会など保護者の参加回数について過重とならないように配慮していますか。	①5.0(+0.3) 4.9(+0.8) ②5.1(+0.1)

自己評価結果の表示方法

A:5点 B:4点 C:2点 D:1点として平均値を算出

4) 今後の課題と評価

教育目標	新たな取り組み（2園交流会）の中でリズム遊び、わらべうた遊び等を例年より活発にとり入れ保育活動を展開してきました。人員配置も昨年度より安定した中で保育課程、指導計画、年間計画を進めていくことが出来、来年度はより子どもが毎日期待感を持って登園できるような計画に努めていきたいです。
教育課程	子どもたちの強みを見つけたり、成長を促すアプローチを念頭に進めてきたつもりでしたがさらに改善に向け取り組んでいく必要を感じています。子どもたちが優しい心や思いやりの心が育まれるような関わり、声掛けの大切さを理解し、あらためて質の高い保育を目指し進めていきたいです。
園の運営	保育以外の周辺業務の効率化を進め、保育に注力できるように改善に取り組みましたがまだ十分とはいえないため更なる工夫をしながら職員の協働体制を作っていきたいと考えています。また今年度はICTが導入され一部業務負担の軽減もありましたがその分、違う取り組みに注力できるなどの良さも生まれてきています。今後はより職員の意見を吸い上げながら働きやすい職場作りに取り組んでいきたいです。
環境・安全	園内清掃の手順の見直しや室温管理などを丁寧に行う事で子どもたちの健康管理、感染症予防に大きな改善が見られました。また災害時対応や不審者訓練に関しても積極的に研修の機会を設け安全意識を常にもち努めることができました。園児の怪我や事故についてもヒヤリハットを職員間で共有する体制作りを整え、安全面の強化に努めてきました。今後も職員が安全意識を切らさぬような体制作りの強化を目指していきたいと考えています。
研修・指導	園内研修を計画的に行い安全管理に対する共通認識や意識が高めることが出来ました。また外部の研修にも参加するなどし知識を取り入れた事で保育士のスキルアップと意識改革を促すことが大切であると考えていましたが、人員配置の観点から積極的な講習会の参加へ至らなかったところもありました。今後は新たな研修内容やより掘り下げた内容の研修にする等園全体の課題に応じて研修方法を変えていくなどして保育士自身のスキルアップの向上に努めていきたいです。
保護者・地域との連携	開かれた園として日々の取り組みの様子を頻度やスピード感を意識して発信してきました。保護者の方とお子さんの成長を喜び合い共有できたことも多く、取り組みを評価していただけたのではないかと思います。また地域の行事を通して地域の方との交流も行う事が出来、今後もこうしたつながりから地域に根差した開かれた園でいられるよう様々な取り組みに参加していきたいと考えています。

令和8年2月27日

学校法人帯広葵学園

認定こども園帯広の森幼稚園分園

分園長 畑 麻貴